

海底ゴミに関するデータだ！

今回は、平成23年11月から平成24年1月12日までに伊吹漁協の漁師さんが回収した海底ゴミについて、その内容を詳しく調べました。その結果を下に表やグラフで表しました。自然ゴミでは、流木などが多くありました。



表1 <回収した海底ゴミの人口ゴミと自然ゴミの内訳>

	1回目	2回目 (12/26)	3回目 (1/7)	4回目 (1/12)	計
人工ゴミ	不明	174	42	182	398
自然ゴミ	不明	332	200	0	532
計	約300	506	242	182	930

* 1回目は数を数えていないので集計には入れていない。

表2 <回収した人工ゴミ398袋から174袋を取り出して集計した>

ビニール	缶	プラスチック	ペットボトル	ビン	ゴム	布類	金属類	その他
3450	596	240	220	42	41	38	30	17

図1 <表1のグラフ化>

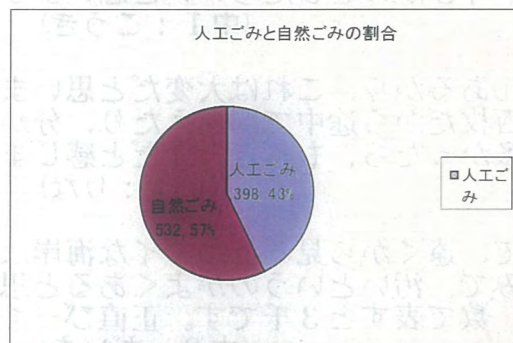
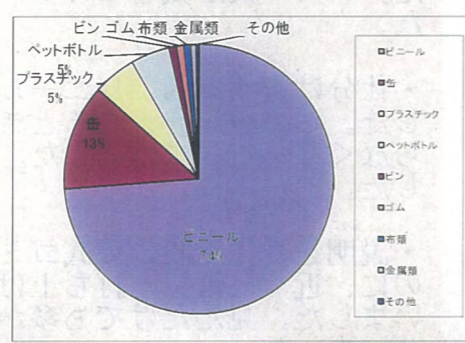


図2 <表2のグラフ化>



ビニールゴミが大変多い！

海へのポイ捨て止めて！魚や漁師が困っています！

* 本書は平成23年度委託事業（海岸漂着物等の発生抑制に係る海底ゴミ対策事業（燧灘海域））を受けて伊吹漁業協同組合と伊吹中学校の共同で作成しました。

観音寺市立伊吹中学校
伊吹漁業協同組合



イブキング

第5号 海底ゴミ特集号

観音寺市立伊吹中学校 学校新聞
H.24. 2.29 発行



海底ゴミの仕分けをしたら、あら、こんなに多かったよ。

海底ゴミが引き上げられるまでについて調べました。

海底ゴミはこんなふうにして引き上げられるんだよ。



① 底引き網漁で網をこぐ。



② 網をローラーで引き上げる。



③ 引き上げられた海底ゴミや魚。



④ 魚と海底ゴミに仕分ける。



⑤ 仕分けられた海底ゴミ



⑥ 海底ゴミを網状の袋に入れる。

＜海底ごみの仕分けを手伝っての感想（抜粋）です＞



・ぼくは、ごみを見ていたら、こんなにかんやびんやビニールぶくろなどが、しずんでいるんだなあと思いました。ぼくは、かんを50個ぶくろの中に入れて、つぎに、ビニールぶくろをしました。とてもくさかったけど、がんばりました。

(小5：とよき)

・木の入ったぶくろが一番多く、びっくりするほどありました。ひうちなどでは、そんなに木がながれているんだなあと思いました。今度からは、海にかんを捨てないようにしようこの活動で思いました。

(小5：あきの)

・私は、海底ゴミの仕分けをして、日本人は、目の前からごみがなくなることで、きれいになったとまちがった考えをしていることが分かりました。

(小6：まゆ)

・人はよく、川や海にゴミを捨てているが、多く捨てた人はどうも思わずにすてていると思います。

(小6：りく)

・船であげられたゴミは、とてもいっぱいあるなあと思いました。海の底には、まだまだゴミがたまっているのかなと思いました。きれいにしたいです。

(小6：たいほう)

・ぼくは、漁協の人から話を聞いて伊吹の周りには、ゴミはまだまだあることが分かりました。だから、漁師の人がゴミを取っているのだから、ぼくたちは、海にゴミを捨てないようにしたいと思いました。

(小6：こうせい)

・うみにあんなにたくさんのごみがたまっているとは、おもいませんでした。

(小1：ななせ)

・いっぱいゴミが、あったので、なかなか大へんでした。たのしかったです。

(小1：まあさ)

・うみをきれいにしたいです。ごみがたくさんありました。

(小1：はるひ)

・こんなに人がゴミをすてているのがびっくりになりました。1、2年生では「もったいないおぼけがでてくるかもね。」と言いました。

(小2：さとこ)



・今日、海にいっぱいゴミがあることがわかりました。

(小3：こうか)

・あきかんとかじゃないやつが何個あるかを見てみると、くつやほうちょう、CDなどたくさんあって(海には、こんなにたくさんごみがあるんだ。いやだな。)と思いました。

(小4：ゆめみ)

海の底にたまっているゴミは、少ないかなと思って、おそろおそろきとみると、いっぱいゴミがひきあげられてました。私はそれを見てすごくびっくりしました。

(小4：ゆか)

その他のゴミで、リモコンやいすが海の中にあるなんて、びっくりしました。こんどからは、わたしも海にゴミをすてないようにします。

(小4：わか)



・海のゴミは、ほとんどが川や水路のゴミが流れて沈んでいるのが分かった。一人一人が気をつけて、一人一人が呼びかけをしたらいいと思いました。

(中1：こうき)

・仕分けをする前、ビニールがたくさんあるから、これは大変だと思いました。ビニールを入れるとき、一袋に百枚だから途中で間違えたり、分からなくなってしまいました。これより多かったら、もっと大変だと感じました。

(中1：りな)

・説明を受けた時、海底ゴミの問題点で、遠くから見るとキレイな海岸なのに、近くに行くと打ち上げられたごみで、汚いというのがよくあると思いました。見ただけでも多かったです。数で表すと3千です。正直びっくりしました。

(中2：だいき)

・地引き網にひっかかって魚との仕分けが大変と聞いて、伊吹ではなおさらゴミを捨てたくないと思いました。資源になるゴミも、海に捨てるとリサイクルできなくなることに驚きました。

(中2：れな)

・海ゴミには、「海岸漂着ゴミ」「漂流ゴミ」「海底ゴミ」の3種類あるのが分かりました。仕分けをするときは、ずっと腰をかたむけていたので少し痛かったけど、皆と協力して早く終わることができました。

(中3：ゆうせい)

・靴や布製品、ゴム手袋など、身近なものがたくさん捨てられていて驚きました。これからは、めんどろだというだけで海に缶やペットボトルなどのゴミを捨てずに、自分が出したゴミは自分で責任を持って回収・処分するようにしたいです。

(中3：たいき)

・1人が捨てるのは少しだけど、たくさんの方が捨てるとうまくたくさんになり、たくさんの方の迷惑になります。だから、ポイ捨てをしないように気をつけようと思いました。そして、皆がポイ捨てをしないようになってほしいと思いました。

(中3：なつみ)